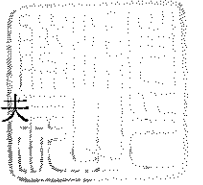


勝 都 建 第 4 8 9 号

平成20年10月15日

国 土 交 通 省 道 路 局 長 様

勝 浦 市 長 藤 平 輝 夫



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号にて依頼のありましたこのことについては、別添のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

千葉県勝浦市

現在の様な厳しい財政事情の中では、今後の道路行政においても更なるコストの縮減化、徹底した効率化を図ることが求められています。

また、交通事故対策や市街地等の渋滞の解消、維持管理等住民から道路へのニーズや課題も多数見受けられますが、これらの課題が解消されない一因として、現在の道路構造令が過大な道路整備を生んでおり、そのため道路用地の取得に多大な日数と費用を要していることが挙げられます。特に、市街地における事業において、その傾向が顕著であると思われます。

このような状況の中、国において道路構造令の見直しについて取り組みむとのことでありますので、地域の特徴を活かした法令の弾力的な運用が図られるよう改善されることを望みます。これにより、用地取得の協力や住民の協力についても理解が得られるとともに、スピード感のある道路政策の展開に繋がるものと考えます。

今後の道路行政についての意見・提案

②ー１ 地域の現状と抱える課題

様式②
千葉県勝浦市

○現状	○課題
勝浦市地域は、南房総国定公園に代表されるように優れた自然環境に恵まれて多くの観光地を有していますが、半島性による制約のため、地域の産業基盤や生活環境の整備は他地域に比べ大きく劣っています。 市街地を通過する幹線道路は、狹隘箇所も多く並行する代替路も無く、通行量も多く観光シーズンには慢性的な渋滞が発生し、市民生活にも支障をきたしており、観光地としての交通ネットワーク機能が不十分で、地域にとってもイメージダウンに繋がっています。 また、厳しい財政事情の中、幹線道路を中心とした整備状況も進んでいない状況であるとともに、市民生活に密着した修繕箇所も多く、十分に行き届かないため住民サービスの低下を招いています。	・市民生活を支える道路と基幹産業である農林水産業をはじめとする地域産業活動の基盤となる地域高規格道路や国道バイパスの整備を推進する必要があります。 ・人口減少、少子高齢化社会を迎えバリアフリーを考慮した道路基盤の整備を進める必要があります。 ・既存ストックの歩道整備、局部改良等、重点的な整備推進を図る必要があります。

今後の道路行政についての意見・提案

様式③

②-2 地域の目指すべき将来像

千葉県勝浦市

- ・海や山に囲まれた豊かな自然景勝地、海浜観光地、県内有数の漁業基地である勝浦漁港を核とした水産業という地域資源を最大限に活用する仕組みを構築し、魅力ある広域ネットワークの基盤づくりが望まれます。
- ・国道を中心とした道路・交通基盤の優先的な整備を促進し、分散的な市街地を支える生活基盤となる道路整備の効率的な実現が望まれます。
- ・旧勝浦有料道路と国道297号とのアクセス向上が図られることによる、適切な交通分担による円滑な交通処理を図ることが望まれます。
- ・市街地の内の幹線市道などの機能強化や地域生活を支える道路の優先的な整備を推進するとともに、急激な少子・高齢化の進行に対応するため、こどもや高齢者の歩行に配慮した道路づくりを推進することが望まれます。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式④
千葉県勝浦市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	地域高規格道路「鴨川・大原道路」の計画 路線への格上げと早期着工	・首都圏中央自動車道との連結によるアクセス向上が進み、広域的な交流・連携が促進され、地域の個性的な農林水産業の展開、質の高い観光・リゾート空間の形成や企業誘致等による地域の産業の新たな展開等の波及効果が期待できます。 ・自然災害の発生も多い急峻な海沿い地域の緊急時における代替路が確保されるときともに慢性的な渋滞が発生する観光シーズンにも対応が可能となります。 ・南房総地域で唯一の3次救急施設(亀田病院)までの所要時間が短縮されることにより、医療圏域が拡大され地域住民の生活の安全安心が守られます。	